

計画の目的・主な内容

- ・本計画は、宮古島をモデルケースにTEC-FORCE活動計画について、具体的なオペレーションや活動規模等を検討
 - ※ 本計画においては「宮古島」とは、宮古島市を構成する池間島、大神島、来間島、伊良部島及び下地島を含む
 - ※ 本計画では、八重山諸島南方沖地震3連動など、宮古島以外にも被害を受ける災害も想定しているが、本計画はモデルケースとして宮古島に特化した活動計画を検討
- ・計画の主な内容は、被害想定、被害状況調査の派遣規模の想定、人員・資機材の派遣計画と今後の課題等

① 検討の流れ



宮古島の地形

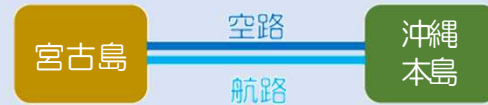


- ・山岳部は少なく最も高い地点の標高は113m
- ・河川法の適用される河川及び準用される河川や湖沼などはなく、全体的に概ね平坦で低い台地状

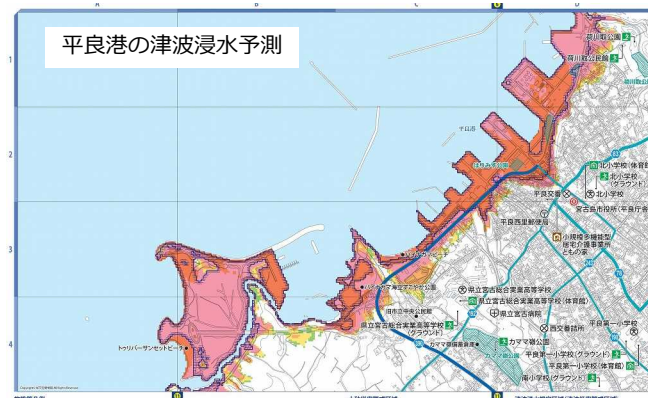
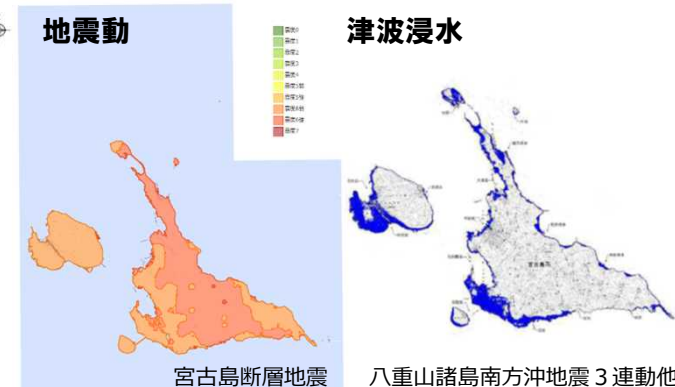
② 離島部特有の課題

【課題】現地への輸送方法

- ・航路又は空路に限定。輸送手段に限りあり
- ・離島であるため食料・燃料等は備蓄に頼る可能性あり



③ 宮古島の主な被災想定



④ 活動内容・派遣規模の検討

【活動内容】

- ① リエゾン（宮古島市災害対策本部へ派遣）
- ② 被災状況調査（災害対策用ヘリ調査、河川・砂防調査、道路調査、港湾調査、建築物調査）

【派遣規模】

- ・被災状況調査（河川・砂防、道路、港湾）は地震・津波により島内の河川・砂防、道路、港湾施設の想定被災量を算出
- ・想定被災量を過去の実績による活動原単位で除して必要派遣班数及び人数を算出

⑤ 人員・資機材輸送計画の検討

- ① 災害対策用ヘリコプター・船舶を用いた人員・資機材輸送
- ② 民間航空機・船舶を用いた人員・資機材輸送
- ③ 他機関の航空機・船舶を用いた人員・資機材輸送



災害対策用ヘリコプター（沖総局）



海翔丸（九州地整）



例）自衛隊輸送艦

⑥ 現地活動計画

【活動拠点】・県又は市の施設を抽出

- ### 【宿泊施設】・被災想定外の宿泊施設〇箇所を抽出
- ・TEC-FORCE活動人数：〇〇人

【活動車両】・被災想定外のレンタカー店舗〇店舗を抽出

【通信】・電波不感地帯では衛星携帯電話を活用

- ### 【燃料】・災害対策用機械等の給油：中核SSでの補給を想定
- ・ヘリの給油：宮古空港または下地島空港での補給を想定

⑦ 今後の課題

- ・沖縄本島及び先島諸島も含めたTEC-FORCE活動計画の検討